

外注化反対連続学習会

第一回

「駅の外注化の問題点」



講師 星野文男さん

(国労新潟駅連合分会・鉄道荷物一新潟駅)

J R 東日本新潟支社で駅の外注化に反対し、労基署への偽装請負の申告や、エルダー社員への賃金不払いに抗議して奮闘されています。新潟支社は10月からの越後線三駅の外注化提案を出し、それとの攻防のなか熊谷に駆けつけてくれます。現在エルダー社員。

高崎支社はずいぶん高崎線の行田駅と北鴻巣駅の駅業務を高崎鉄道サービス(TTS)に外注化しました。しかもTTSからは「いままで通りに働いて下さい」と、やるべきこととやってはいけないことの説明も一切されていないそうです。場所も、機材も、人間もまるまる同じ状態で、制服が替えられ、労働条件だけが切り下げられたのです。まさに請負の偽装そのものであり、現場の駅員は怒りにうち震えています。

何よりも許せないことは、「外注化はエルダー社員の職場の確保のためしかたがない」と会社や組合が説明していたのに、結局エルダー社員がほとんどいないにもかかわらず外注化が強行され、若年出向者が多数出ていることです。「一体何のために俺は出向に出されたのか納得できない！」という怒りの声が渦巻いています。

J Rにおける鉄道業務の全面外注化は、まだ始まったばかりです。今回は駅の外注化における問題点について、新潟のたたかう仲間を招いて学習会を行います。組合の枠を越えて、多くの方のみなさんの参加を訴えます。

日時 8月30日(金) 18時30分～

場所 熊谷商工会館2階3号室 (熊谷市役所となり。熊谷駅北口から徒歩8分)

主催 国鉄高崎動力車連帯労働組合
動労千葉を支援する会・熊谷

終了後。講師との交流会も予定しています。

お問い合わせ先 048-722-7107 メール srkcjp@yahoo.co.jp